

掲載新聞	日刊工業新聞社
掲載年月	2023年 9月 27日
掲載対象	歳差運動ディスクミル

粗さ自在粉砕機 杉山重工が材料研究向け

【名古屋】杉山重工（愛知県瀬戸市、杉山大介社長）は、粉砕ディスクの回転方式に歳差（首振り運動）または水平を選択でき、1台で粗砕から微粉砕までに対応する粉砕機「歳差運動ディスクミル」を発売した。

マグネシウム、アルミニウム合金系などの無機系材料に対応し、主に試験研究用途を見込む。粉砕した材料の吸引回収ユニットを含む消費税抜きの価格は1800万～2000万円。年間20台の販売を見込む。

粉砕室の上部に固定ディスク、下部に回転ディスクを配置。両ディスクの間隔を変化させ、ディスク間に投入した材料を破砕する。ディスクを回転させる駆動モーターに加えて、歳差機構駆動モーターを備えており、塊状の材料を粗砕する場合は、両モーターを併

用すると回転ディスクが歳差運動を行い、材料を圧壊粗砕する。微粉砕は駆動モーターのみで単独運転で行う。処理量は1時間当たり約60kg。材料径5mmなら同14割（マシクロは100万分の1）程度に粉砕可能。機器本体寸法は奥行き1200mm×幅700mm×高さ1700mmで、ディスク回転数は毎分350回転。粉砕時の熱発生が少なく、材料品質に与える影響を抑えた。

